

## 四角形

## 問題

**58** 複素数平面上で、0 でない複素数  $\alpha, \beta$  を表す点をそれぞれ A, B とし、原点を O とする。 $\alpha, \beta$  が等式  $\alpha^2 - 2\alpha\beta + 2\beta^2 = 0$  をみたすとき、次の問いに答えよ。

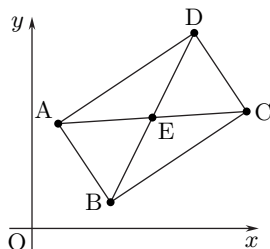
(1)  $\frac{\alpha}{\beta}$  の値,  $\arg \alpha - \arg \beta$  の値をそれぞれ求めよ。

(2) さらに、点 C を四角形 OACB が平行四辺形になるように定める。

$\beta = 1 + 3i$  であるとき、頂点 C を表す複素数を求めよ。 (星薬科大)

**59** 複素数平面上に図のような長方形があり、点 A を表す複素数が  $\sqrt{3} + 4\sqrt{3}i$ 、点 B を表す複素数が  $3\sqrt{3} + \sqrt{3}i$  であり、 $AB : BC = 1 : \sqrt{3}$  であるとする。このとき、点 C を表す複素数は  である。

また、線分 AC と線分 BD の交点を E とすると、E を表す複素数は  である。



## チェック・チェック

**58** (1)  $\frac{\alpha}{\beta}$  により, 3 点 O, A, B の位置関係,

すなわち

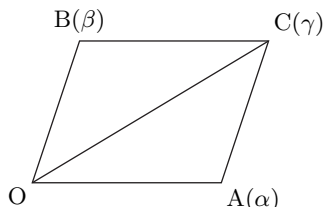
OA : OB と  $\angle BOA$

が決まります。

(2) 四角形 OACB が平行四辺形である条件は

$$\gamma = \alpha + \beta$$

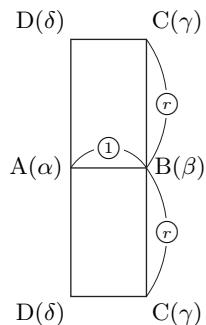
です。



**59** 四角形 ABCD が  $AB : BC = 1 : r$  の長方形である条件は, A を B のまわりに  $\pm \frac{\pi}{2}$  回転し, B を中心に  $r$  倍した点が C であるということであり, これは

$$\begin{aligned} & \gamma - \beta \\ &= r \left\{ \cos \left( \pm \frac{\pi}{2} \right) + i \sin \left( \pm \frac{\pi}{2} \right) \right\} (\alpha - \beta) \end{aligned}$$

をみますことです。本問では ABCD が反時計方向にまわっているのです。  $-\frac{\pi}{2}$  回転することになります。



## 解答・解説

$$58 \quad (1) \quad \alpha^2 - 2\alpha\beta + 2\beta^2 = 0$$

両辺を  $\beta^2$  ( $\neq 0$ ) でわると

$$\left(\frac{\alpha}{\beta}\right)^2 - 2 \cdot \frac{\alpha}{\beta} + 2 = 0$$

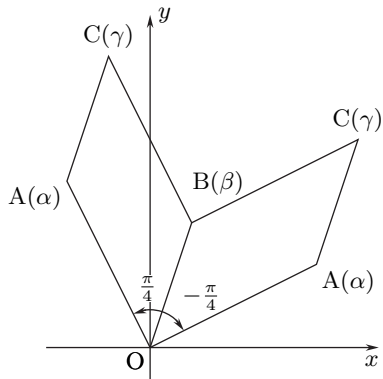
$$\therefore \frac{\alpha}{\beta} = 1 \pm i$$

さらに

$$\frac{\alpha}{\beta} = \sqrt{2} \left\{ \cos\left(\pm \frac{\pi}{4}\right) + i \sin\left(\pm \frac{\pi}{4}\right) \right\}$$

$\arg \alpha - \arg \beta = \arg \frac{\alpha}{\beta}$  より

$$\arg \alpha - \arg \beta = \pm \frac{\pi}{4}$$



$$(2) \quad \alpha = (1 \pm i)\beta = (1 \pm i)(1 + 3i) = -2 + 4i, 4 + 2i$$

平行四辺形 OACB の頂点  $C(\gamma)$  は

$$\gamma = \beta + \alpha$$

で求められるので

$$(1 + 3i) + (-2 + 4i) = -1 + 7i, \quad (1 + 3i) + (4 + 2i) = 5 + 5i$$

$$\text{すなわち } \gamma = \underline{-1 + 7i, 5 + 5i}$$

59 頂点 A, B, C を表す複素数をそれぞれ  $\alpha, \beta, \gamma$  とすると, C は点 A を点 B のまわりに  $-\frac{\pi}{2}$  回転して, さらに B を中心に  $\sqrt{3}$  倍した点であるから

$$\begin{aligned} \gamma &= \beta + \sqrt{3} \left\{ \cos\left(-\frac{\pi}{2}\right) + i \sin\left(-\frac{\pi}{2}\right) \right\} (\alpha - \beta) \\ &= (3\sqrt{3} + \sqrt{3}i) - \sqrt{3}i(-2\sqrt{3} + 3\sqrt{3}i) \\ &= \underline{9 + 3\sqrt{3} + (6 + \sqrt{3})i} \end{aligned}$$

また, E は線分 AC の中点だから, E を表す複素数は

$$\begin{aligned} \frac{\alpha + \gamma}{2} &= \frac{(\sqrt{3} + 4\sqrt{3}i) + \{9 + 3\sqrt{3} + (6 + \sqrt{3})i\}}{2} \\ &= \underline{\underline{\frac{9 + 4\sqrt{3}}{2} + \frac{6 + 5\sqrt{3}}{2}i}} \end{aligned}$$